

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-8365
住 所 東京都中央区京橋一丁目5番8号
氏 名 日本冶金工業株式会社
代表取締役社長 久保田 尚志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本冶金工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	製鋼・製鋼圧延業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	144,895	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t ・CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 309,072 t-CO ₂ (調) 305,911	(実) 309,733 t-CO ₂ (調) 306,585	(実) 290,199 t-CO ₂ (調) 287,202	(実) 305,446 t-CO ₂ (調) 302,331	(実) 308,172 t-CO ₂
削減率		(実) -0.2 % (調) -0.2	(実) 6.1 % (調) 6.1	(実) 1.2 % (調) 1.2	(実) 0.3 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	造塊量		単位	t-CO ₂ /千t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	987.8	1,008	964.1	1,003	984.9
削減率		-2.0 %	2.4 %	-1.5 %	0.3 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	製造に時間とコストのかかる高機能材（高耐食材・耐熱材など）の受注が増えたため、温室効果ガスの排出量は基準年と比べて0.2%、原単位は2.0%増加した。
第2年度	平成29年5月に発生した当社川崎製造所熱延工場の火災により、製造工程の一部を外部に委託した。結果として温室ガスの排出量は基準年と比べて6.1%、原単位は2.4%低減した。
第3年度	電力トランス更新や照明設備LED化など措置は予定通り実施した。平成30年度の温室効果ガスの排出量は、造塊量が減った影響もあり3626トン低下した。しかし原単位は、製造に時間とコストのかかる高機能材（高耐食材・耐熱材など）の受注が増えたため、結果として1.5%増加した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	(1) 厚板工場 1 号炉扉改善 (2) 電力トランス更新 (3) 電気室エアコン更新 (4) 照明設備LED化
	第 1 年度	(1) 電力トランス更新を実施中。 (2) 電気室エアコン更新を実施中。 (3) 照明設備LED化を実施中。
	第 2 年度	(1) 電力トランス更新を実施中。 (2) 電気室エアコン更新を実施中。 (3) 照明設備LED化を実施中。
	第 3 年度	(1) 電力トランス更新を実施中。 (2) 電気室エアコン更新を実施中。 (3) 照明設備LED化を実施中。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

太陽光発電等についての導入予定はない。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進。 (2) 県経営者協議会、エネルギー管理指定工場連絡会、産業環境管理協会などの主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動の対策の調査。 (3) 運送事業者や取引先事業者に対し、環境に配慮したエコ運搬の実施を手引に従い十数社に要請。
第1年度	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進した。 (2) 産業環境管理協会など主催の講習会・説明会などを通じての省エネルギー活動の対策の調査をおこなった。
第2年度	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進。 (2) 神奈川県や川崎市主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動対策の調査。 (3) 運送事業者や取引先事業者に対し、環境に配慮したエコ運搬の実施を手引に従い十数社に要請。
第3年度	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進。 (2) 神奈川県や川崎市主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動対策の調査。 (3) 運送事業者や取引先事業者に対し、環境に配慮したエコ運搬の実施を手引に従い十数社に要請。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	295,064	t-CO ₂
(調)	290,565	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本冶金工業株式会社	神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号	2221	製鋼・製鋼圧延業	295,064 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--